



「My Favorite in Tokyo !」の単元では、東京を訪れるALTに、東京のおすすめを紹介することをゴールとして設定しました。第1・2時は、ALTから依頼を受け、紹介する内容やその英文を考えます。第5・6時は、ゲストティーチャーからアドバイスをもらいます。「何がわかればよいかつかむ」(計画)、「地域の方と協働して学びを深める」(協働)場面を仕組みました。



ALTのビデオレター



アドバイスを求める生徒A



Bさんに「東京スカイツリー」を紹介する生徒A



ご協力いただいた地域の方々

【何がわかればよいかつかむ】

ALTからのビデオレターを視聴した生徒たちは、ALTに紹介したい東京の名所や名物を考え始めました。生徒Aは、当初、浅草を紹介しようと考えましたが、同じ考えの友達が多いことを知り、悩みました。教師から、「行ったことのない名所を紹介されたら嬉しいんじゃない?」という助言を受けた生徒Aは、20年前にはなかった名所を探し始め、どんな英語表現を使えばよいのかを考え始めました。

教師の働きかけ

「母国に帰国したALTからのビデオレター」を見せることで、生徒たちに目的意識をもたせました。

東京にある様々な場所や食べ物からALTが喜びそうな「My おすすめ」を選択できるようにしました。

【地域の方と協働して学びを深める】

ゲストティーチャーに向けて「My おすすめ」のプレゼンテーションの練習を行う授業で、生徒Aは、地域の外国人Bさんに東京スカイツリーのプレゼンをしました。Bさんから「I want you to の発音に気を付けるように」というアドバイスをを受けた生徒Aは、正確な発音に近づけるため、Bさんと何度も発音練習をしました。発表会では、ALTから「Excellent」という高い評価をもらうほどの発音で発表できました。

コミュニティ・スクールとしての強みを生かし、地域の外国人や英語が堪能な方々に来ていただいて、ALTへのプレゼンテーションを聞いてアドバイスを頂く機会を設定しました。

生徒の意欲を向上させるために、地域の方へ「ALTになったつもりで、生徒にアドバイスしてください」とお願いしました。



学習計画へ



授業風景

導入で「ALTからのビデオレター」を用いたことで、「ALTに東京を楽しんでもらえるようなプレゼンテーションにするには、どうしたらよいのだろう」という、目的意識をもたせることができました。

地域の協力者から発表や発音についてのアドバイスをしていただく機会を設けたことで、生徒の意欲が高まりました。加えて、美しい発音に触れ、正確な発音をしようとする生徒が増えました。

